

## 1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 10月 15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 1 5 0 2 9 8 3
法人名	(有)ピュア・ハート
事業所名	グループホーム 春里
所在地	広島県福山市新市町戸手657 - 1 (電 話) 0847 - 51 - 5665
評価機関名	医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成19年10月4日

## 【情報提供票より】(19年 8月 30日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17人 常勤 14人, 非常勤 3人, 常勤換算 人

## (2)建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

## (4)利用者の概要( 8月 30日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	9名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 82歳	最低	69歳	最高	95歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	池田医院、田上歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム春里は、近くに医院や買物にも便利な大型スーパーがあり、交通の便もJR駅から近く、バスの便も良い所に立地している。代表者もホーム長からも運営において熱意ある思いが伝わってきて、以前ホームに勤めていた職員が退職したのちも習字ボランティアに来たり、入居者の顔を見に訪れたり通常では見られない光景ではないかと思う程に家庭的な雰囲気をもっているホームである。又、ケア面でも終末期医療に積極的に取り組んだり、とても意欲あるスタッフに恵まれたホームであると言える。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員の研修を年2回とし、ケアのマンネリ化を脱すると共にスキルアップしていく。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 1日3人を散歩に連れ出す(夏季は避ける)取り組みをしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議において、認知症勉強会をしたり救命講習に取り組んでいる。(AEDの設置)
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 入所前、本人が喫煙することで他のホームで断わられたが、「春里」で受け入れてもらえ、又飲酒もOKということで安心してお任せしているという家族の声もあった。本人も少しずつ喫煙の本数も減っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 公民館に出品する等して、地域との交流を計り積極的に地域に溶け込んでいく姿勢が見られる。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	( 評価機関で記入) 3471502983	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所としての理念があり、1階2階のフロア毎の理念もある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各フロア毎の理念を自分達で決めているので、共有しやすく皆で日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの行事に地域の方が多数参加され、ホームをより理解してもらえる様に努力している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を通して管理者を中心に改善すべき点等に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、推進会議(行事として)のお知らせをして参加者を募って不特定多数の方が集われているが、報告や話し合いの場に場にはなっていない。		年に数回は、報告や話し合いの機会にされることが望まれる。

外部	自己	( 評価機関で記入) 3471502983	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市や町が開催する会議には、必ず出席して情報を収集し、交流を計っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便り等で日々の暮らしぶりをお知らせしたり、面会時又は毎月の請求書送付時に一人ひとりに手紙にて報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見、苦情等は玄関に設置された意見箱がある。又は直接、来所時や介護計画説明時等に聞いて対応している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく、離職時も入居者の方の不穏は見られなかった。ユニットリーダーの声かけも穏やかである。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回の外部研修には交替で行っている。その後、月1回のミーティング時に皆で共有している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の中で、タウンミーティングや勉強会を通して地域の同業者と交流する機会をもち、より質の向上を目指す取り組みをしている。		

外部	自己	( 評価機関で記入) 3471502983	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご本人、家族と面接をし、希望があれば体験利用もできる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ある入所者に関しては、管理者を母親と勘違いし、親近感をもって接する姿が見られる程に家庭的な雰囲気がある。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ホームの理念にある「一人ひとりにあった関わりを提供します」を常に心がけ、生活のペースや外出等、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>フロアの今月目標を「家族さんと話しをしよう」を掲げる等、家族の希望や意見をよく聞く姿勢が見られ、話し合いながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>通常、半年に1回見直しているが、状態変化時には随時、見直している。</p>		

外部	自己	( 評価機関で記入) 3471502983	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携医による24時間健康管理・医療活用により、ターミナルケアに取り組んでいる。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の高齢化に伴い要介護度も高くなり経管栄養等、医療処置も必要で往診対応の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けて早い段階で家族、かかりつけ医、職員全員で細部まで話し合いケアプランを作成している。		今年になって年齢的ターミナルで4人対応している。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりの誇りを尊重し言葉かけに心配りしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のリズムや、その日に本人がしたいことを出来るだけ支援している。		毛染めを希望する人が多く94才になっても女性は美しくなりたい願望があり、近くの美容院に行っている。

外部	自己	( 評価機関で記入) 3471502983	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る人、やりたい人には、手伝ってもらっている。食事も自分のペースで食べている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	要介護度が高い人は、入浴を楽しむ域ではなく、入浴時間も短時間に行なうことが必要となってくる。		夏場は、シャワー浴の対応でもよいが、冬場の入浴において負担感を与えない程度、工夫されることを期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る人には、洗濯たたみ、食事の後片付け等してもらっている。又習字や折り紙などの作品は、壁に貼ってあり家族と共に楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩表を作成して、一人ひとりの状況を把握している。又外食をしたりして出来るだけ戸外に出かけるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、日中開放されており、入りやすい雰囲気がある。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練でホームの全員を避難させたが入居者も職員もスムーズに避難できたことが職員の自信となった。		今後、災害時に近隣住民の協力を得られる為にも日頃の付き合い方に取り組んでいく予定である。

外部	自己	( 評価機関で記入) 3471502983	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事摂取量や水分量を記録し、足りない分量は励ましながら支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、居間等は清潔感があり、リビングから延びたウッドデッキに洗濯物が干してあり馴染みのある生活感に満ちた空間で親しみがある。		外来者の感想や気付きを聞きながら、より居心地のよい空間づくりに励まれることを期待します。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、ベットだったり畳が敷いてあったり、又使い慣れた家具や電化製品が置かれ、居心地良く過ごせる工夫がある。		